

自己評価票

自己評価は全部で100項目あります。

これらの項目は事業所が地域密着型サービスとして目標とされる実践がなされているかを具体的に確認するものです。そして改善に向けた具体的な課題を事業所が見出し、改善への取り組みを行っていくための指針とします。

項目一つひとつを職員全員で点検していく過程が重要です。点検は、項目の最初から順番に行う必要はありません。点検しやすい項目(例えば、下記項目の や 等)から始めて下さい。

自己評価は、外部評価の資料となります。外部評価が事業所の実践を十分に反映したのものになるよう、自己評価は事実に基づいて具体的に記入しましょう。

自己評価結果は、外部評価結果とともに公開されます。家族や地域の人々に事業所の日頃の実践や改善への取り組みを示し、信頼を高める機会として活かしましょう。

地域密着型サービスの自己評価項目構成

	項目数
. 理念に基づく運営	22
1. 理念の共有	3
2. 地域との支えあい	3
3. 理念を実践するための制度の理解と活用	5
4. 理念を実践するための体制	7
5. 人材の育成と支援	4
. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援	10
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応	4
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援	6
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント	17
1. 一人ひとりの把握	3
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し	3
3. 多機能性を活かした柔軟な支援	1
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働	10
. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援	38
1. その人らしい暮らしの支援	30
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり	8
. サービスの成果に関する項目	13
合計	100

記入方法

[取り組みの事実]

ケアサービスの提供状況や事業所の取り組み状況を具体的かつ客観的に記入します。(実施できているか、実施できていないかに関わらず事実を記入)

[取り組んでいきたい項目]

今後、改善したり、さらに工夫を重ねたいと考えた項目に をつけます。

[取り組んでいきたい内容]

「取り組んでいきたい項目」で をつけた項目について、改善目標や取り組み内容を記入します。また、既に改善に取り組んでいる内容・事実があれば、それを含めて記入します。

[特に力を入れている点・アピールしたい点] (アウトカム項目の後にある欄です)

日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入します。

用語の説明

家族等 = 家族、家族に代わる本人をよく知る人、成年後見人などを含みます。

家族 = 家族に限定しています。

運営者 = 事業所の経営・運営の実際の決定権を持つ、管理者より上位の役職者(経営者と同義)を指します。経営者が管理者をかねる場合は、その人を指します。

職員 = 管理者および常勤職員、非常勤職員、パート等事業所で実務につくすべての人を含みます。

チーム = 管理者・職員はもとより、家族等、かかりつけ医、包括支援センターの職員等、事業所以外のメンバーも含めて利用者を支えている関係者を含みます。

評価シートの説明

評価調査票は、プロセス評価の項目(1から 87)とサービスの成果(アウトカム)の項目(88から 100)の2種類のシートに分かれています。記入する際は、2種類とも必ず記入するようご注意ください。

事業所名	社会福祉法人三養福祉会グループホーム檀原の郷
(ユニット名)	耳成
所在地 (県・市町村名)	奈良県檀原市飯高町7-1
記入者名 (管理者)	菅 幹夫
記入日	平成 20 年 8 月 20 日

地域密着型サービス評価の自己評価票

(部分は外部評価との共通評価項目です)

↑ 取り組んでいきたい項目

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
. 理念に基づく運営				
1. 理念と共有				
<input type="checkbox"/>	地域密着型サービスとしての理念 地域の中でその人らしく暮らし続けることを支えていくサービスとして、事業所独自の理念をつくりあげている	理念の明記や貼り出しを行っている。		継続していきます。
<input type="checkbox"/>	理念の共有と日々の取り組み 管理者と職員は、理念を共有し、理念の実践に向けて日々取り組んでいる	理念の明記や貼り出しにて共有している。		継続していきます。
<input type="checkbox"/>	家族や地域への理念の浸透 事業所は、利用者が地域の中で暮らし続けることを大切にしたい理念を、家族や地域の人々に理解してもらえよう取り組んでいる	運営推進会議において、地域の自治会長様や家族様に理念を説明している。		継続していきます。
2. 地域との支えあい				
<input type="checkbox"/>	隣近所とのつきあい 管理者や職員は、隣近所の人と気軽に声をかけ合ったり、気軽に立ち寄りてもらえるような日常的なつきあいができるように努めている	自治会の会議などに参加させて頂いたり、会長への挨拶を初め、当施設の行事の案内や、あらゆる機会を通じて近隣の人達への声の掛け合いをする事により、日常のお付き合いが出来るように努めています。		継続していきます。
<input type="checkbox"/>	地域とのつきあい 事業所は孤立することなく地域の一員として、自治会、老人会、行事等、地域活動に参加し、地元の人々と交流することに努めている	同上		行事等がある時は積極的に声をかけていきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
6	事業所の力を活かした地域貢献 利用者への支援を基盤に、事業所や職員の状況や力に応じて、地域の高齢者等の暮らしに役立つことがないか話し合い、取り組んでいる	ヘルパーステーション、居宅支援事業所とも連携しています。又、近所の身体障害者通所授産施設「たけのこ園」に協力させて頂いており、アルミ缶を回収しています。		継続していきます。
3. 理念を実践するための制度の理解と活用				
7	評価の意義の理解と活用 運営者、管理者、職員は、自己評価及び外部評価を実施する意義を理解し、評価を活かして具体的な改善に取り組んでいる	職員の最初の出勤の際のオリエンテーションや毎日のミーティング、月一回のスタッフ会議にて、意義や改善に取り組んでいます。		継続していきます。
8	運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	運営推進会議終了後のスタッフ会議や、毎日のミーティングにおいて内容の報告を行い、職員のスキルアップを図っています。		継続して行きます、又玄関に会議の報告書を置き、どなたでも見て頂けるようにしています。
9	市町村との連携 事業所は、市町村担当者と運営推進会議以外にも行き来する機会をつくり、市町村とともにサービスの質の向上に取り組んでいる	本年度から、橿原市より介護相談員2名を受け入れています。		継続していきます。
10	権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、地域福祉権利擁護事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、必要な人にはそれらを活用できるよう支援している	ケアマネージャーは2人おり、その研修において学んでいます。		現在活用している利用者がいます。今後も支援する機会があれば活用していきたいと思います。
11	虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止関連法について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内で虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	毎日のミーティングや回覧において、職員間で話し合いや意識づけを行っています。		今後も徹底していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
4. 理念を実践するための体制			
12	<p>契約に関する説明と納得</p> <p>契約を結んだり解約をする際は、利用者や家族等の不安、疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている</p>	<p>新規入居前に納得頂けるまで説明をさせて頂いています。</p>	<p>入居されてからも機会ある度に説明させて頂いています。</p>
13	<p>運営に関する利用者意見の反映</p> <p>利用者が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>本年度から、橿原市より介護相談員2名が相談業務に入ってくれており、相談終了後、計画作成者と意見交換を行っています。</p>	<p>その内容は毎日のミーティングで、職員に報告し、ケアの向上に繋げています。</p>
14	<p>家族等への報告</p> <p>事業所での利用者の暮らしぶりや健康状態、金銭管理、職員の異動等について、家族等に定期的及び個々にあわせた報告をしている</p>	<p>三ヶ月以内にケアプランの見直し、モニタリング、新しいプランを作成させて頂いており、その事も家族様に報告して現金管理もその際に確認できるものを提示させて頂いています。状況の変化があれば、あったその時電話などで報告、相談させて頂いております。</p>	<p>継続していきます。</p>
15	<p>運営に関する家族等意見の反映</p> <p>家族等が意見、不満、苦情を管理者や職員ならびに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている</p>	<p>重要事項説明書に、苦情受付窓口・機関を明記しており、入居時に説明させて頂いております。又玄関に介護相談員のポスターを掲示し、その都度役割を説明しています。</p>	<p>継続していきます。</p>
16	<p>運営に関する職員意見の反映</p> <p>運営者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている</p>	<p>毎日のミーティングや月一回のスタッフ会議において、提案を出して頂いています。</p>	<p>継続していきます。</p>
17	<p>柔軟な対応に向けた勤務調整</p> <p>利用者や家族の状況の変化、要望に柔軟な対応ができるよう、必要な時間帯に職員を確保するための話し合いや勤務の調整に努めている</p>	<p>職員間で話し合い、対応しています。</p>	<p>継続していきます。</p>
18	<p>職員の異動等による影響への配慮</p> <p>運営者は、利用者が馴染みの管理者や職員による支援を受けられるように、異動や離職を必要最小限に抑える努力をし、代わる場合は、利用者へのダメージを防ぐ配慮をしている</p>	<p>職員は各ユニット毎に固定しておりますが、病気・離職に伴い一部代わる場合も生じております。その際は慣れた職員により対応しています。</p>	<p>各ユニット毎、職員固定できる様に努めて行きます。</p>

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
5. 人材の育成と支援				
19	職員を育てる取り組み 運営者は、管理者や職員を段階に応じて育成するための計画をたて、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	毎日、勤務時間内に施設内研修を30分実施しています。		ケアプランの評価、ケアカンファレンスなどは徹底しており、月一回のスタッフ会議において勉強会も実施しています。今後も継続して行きたいです。
20	同業者との交流を通じた向上 運営者は、管理者や職員が地域の同業者と交流する機会を持ち、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	リーダーはケアマネージャー資格を取得しており、受講する研修などを通じて交流しています。		近隣の施設と交流をし、ケアに活かしていきたいと考えています。
21	職員のストレス軽減に向けた取り組み 運営者は、管理者や職員のストレスを軽減するための工夫や環境づくりに取り組んでいる	定時に業務を終わらせて、リフレッシュする時間の確保をしています。		運営者に、職員は伝えたい事があれば、会ったその場で伝えていきます。又その様な雰囲気作りに努めて行きます。
22	向上心を持って働き続けるための取り組み 運営者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、各自が向上心を持って働けるように努めている	毎日のミーティング、個別のコミュニケーションにて対応しています。		施設外研修にも参加していけるようにしていきたいです。
.安心と信頼に向けた関係づくりと支援				
1. 相談から利用に至るまでの関係づくりとその対応				
23	初期に築く本人との信頼関係 相談から利用に至るまでに本人が困っていること、不安なこと、求めていること等を本人自身からよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	本人様から訴えたいこと、不安な事など、ゆっくりとお伺いして納得して頂けるまで対応に努めています。		継続していきます。
24	初期に築く家族との信頼関係 相談から利用に至るまでに家族等が困っていること、不安なこと、求めていること等をよく聴く機会をつくり、受けとめる努力をしている	面接においてもしっかりと受け止め、安心して利用して頂けるように努めています。		継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
25	初期対応の見極めと支援 相談を受けた時に、本人と家族が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	グループホームのみでなく、特別養護老人ホーム・居宅・ショートステイ・デイサービスも併設しているので、それぞれの事業所と連携をとりながら対応しています。		継続していきます。
26	馴染みながらのサービス利用 本人が安心して、納得した上でサービスを利用するために、サービスをいきなり開始するのではなく、職員や他の利用者、場の雰囲気徐々に馴染めるよう家族等と相談しながら工夫している	入居されるまで、されてからも家族様と連絡を密に行って利用者様、家族様ともに安心して頂けるように工夫しています。		入居前の見学と一緒に来て頂く、契約時にも本人様に来て頂く等しております。又、希望される場合は、日中、一緒に過ごして頂いてりしています。
2. 新たな関係づくりとこれまでの関係継続への支援				
27	本人と共に過ごし支えあう関係 職員は、本人を介護される一方の立場におかず、一緒に過ごしながら喜怒哀楽を共にし、本人から学んだり、支えあう関係を築いている	支えあう関係を築く為にも、普段から傾聴に努め、一緒に笑い合える時は一緒に笑ったり、普段の生活の中から色々な事を入居者様から学ばせて頂いています。		継続していきます。
28	本人を共に支えあう家族との関係 職員は、家族を支援される一方の立場におかず、喜怒哀楽を共にし、一緒に本人を支えていく関係を築いている	常に連絡を取り合えるように状態変化などあった場合もすぐに連絡を行って、疑問や不安をためてしまわれないように心がけ、共に支えあっていく立場をとっています。		連絡をより密に取りあっていきます。
29	本人と家族のよりよい関係に向けた支援 これまでの本人と家族との関係の理解に努め、より良い関係が築いていけるように支援している	入居されるまで、されてからも認知症に関する色々な訴え、気持ち、不安を受け止めています。		ケアプランの更新時期には特に時間を頂き、「思い」をお聞きしております。
30	馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないよう、支援に努めている	入居されている方には友達が会いに来て下さったという方もおられ、又、ずっと馴染みで通っていた「あんま・マッサージ師」に通ったりされています。		入居者様にとって馴染みの人が面会に来られた時には、その人も大切な人であるという事を、引き続き職員は確認しあっていきます。
31	利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せず利用者同士が関わり合い、支え合えるように努めている	入居者様同士の性格などを把握して人間関係が悪くならないように配慮させて頂いています。入居者様が他入居者様を癒す関係大切にしていきたいと毎日のミーティングでも確認しています。		他者の言動を非難、強い口調で諭したりする傾向がある入居者様には、改善にむけ朝のミーティングで討議しています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
32	関係を断ち切らない取り組み サービス利用(契約)が終了しても、継続的な関わりを必要とする利用者や家族には、関係を断ち切らないつきあいを大切にしている	長期入院の為、退去された入居者様の家族様には時々電話をし、様子等を伺っています。又必要に応じて「認知症の人と家族の会」の情報をお伝えしています。		継続していきます。
. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント				
1. 一人ひとりの把握				
33	思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している	ケアプランでも聞き取りさせて頂き、困難な場合は家族様にお尋ねして、毎日のミーティングで情報を共有しています。		継続していきます。
34	これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	毎日のミーティングにおいても把握し、ケアプランでも2週間ごとに行動実施評価を実施して経過の把握が分かりやすいようにしています。		今後も職員全員が把握できる様継続し、より良いケアの提供に努めて行きます。
35	暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状を総合的に把握するように努めている	ケアプランでもあげています。普通の生活をして頂けるよう、朝のミーティングでも再確認しています。		個性を尊重し穏やかに生活していける様に援助していきます。
2. 本人がより良く暮らし続けるための介護計画の作成と見直し				
36	チームでつくる利用者本位の介護計画 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映した介護計画を作成している	介護計画については特に職員に周知するようにしています。計画が活かされたものになるように毎日のミーティング、2週間評価、モニタリングを実施しています。		引き続き医療関係者とも連携を取りながら、介護計画を作成していきます。
37	現状に即した介護計画の見直し 介護計画の期間に応じて見直しを行うとともに、見直し以前に対応できない変化が生じた場合は、本人、家族、必要な関係者と話し合い、現状に即した新たな計画を作成している	3ヵ月単位で常に変更していますが、精神状態や身体状態に変化があったり処方を変更したりするなどケアのポイントが変化した場合には医師や看護師にも相談し、本人様・家族様にも説明行い、ケアプランも変更して新しくしています。		継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
38	個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている	介護日誌、介護経過メモ、個人ケース記録、ケアプラン行動実施評価、2週間評価、モニタリング、ケアカンファレンスの記録をもとに反映できるようにしています。		継続していきます。
3. 多機能性を活かした柔軟な支援				
39	事業所の多機能性を活かした支援 本人や家族の状況、その時々々の要望に応じて、事業所の多機能性を活かした柔軟な支援をしている	支援が柔軟にできるような体制は整っており、同施設内の他部署と調整しながら、対応を行っている。		継続していきます。
4. 本人がより良く暮らし続けるための地域資源との協働				
40	地域資源との協働 本人の意向や必要性に応じて、民生委員やボランティア、警察、消防、文化・教育機関等と協力しながら支援している	近隣の小学生と学校ぐるみで交流させて頂いています。ボランティアの方々との交流も多くあります。		離苑時は、警察の協力も必要になってくると思われますので、その体制を作っていきます。
41	他のサービスの活用支援 本人の意向や必要性に応じて、地域の他のケアマネジャーやサービス事業者と話し合い、他のサービスを利用するための支援をしている	今までは該当ありませんでした。		必要に応じて、他サービスの利用も検討していきます。
42	地域包括支援センターとの協働 本人の意向や必要性に応じて、権利擁護や総合的かつ長期的なケアマネジメント等について、地域包括支援センターと協働している	当施設併設の居宅支援事業所を通じていつでも連携がとれる体制になっています。		継続していきます。
43	かかりつけ医の受診支援 本人及び家族等の希望を大切に、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	本人様の希望をお伺いしながら必要な医療が適切に受けられるように支援させて頂いており、通院が困難であるなどある場合、希望に沿う医師を紹介させて頂いたりしています。		継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
44	認知症の専門医等の受診支援 専門医等認知症に詳しい医師と関係を築きながら、職員が相談したり、利用者が認知症に関する診断や治療を受けられるよう支援している	当施設に毎日来て頂いている医師がおり、対応させて頂いておりますが、周辺症状の増悪時等は主治医・家族様とも相談し、専門医の受診を行っています。		継続していきます。
45	看護職との協働 利用者をよく知る看護職員あるいは地域の看護職と気軽に相談しながら、日常の健康管理や医療活用の支援をしている	併設の特別養護老人ホームの看護職員と日頃から相談、処置等お願いしており、毎日対応しております。		継続していきます。
46	早期退院に向けた医療機関との協働 利用者が入院した時に安心して過ごせるよう、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。あるいは、そうした場合に備えて連携している	入院された際の情報提供、退院された際の情報交換などはきちんと確認させて頂いております。		継続していきます。
47	重度化や終末期に向けた方針の共有 重度化した場合や終末期のあり方について、できるだけ早い段階から本人や家族等ならびにかかりつけ医等と繰り返し話し合い、全員で方針を共有している	健康状態の変化なども日頃から本人様・家族様・かかりつけ医などと情報を共有し、方針があいまいにならないようにしております。		全員で方針を共有できるようにしていきます。
48	重度化や終末期に向けたチームでの支援 重度や終末期の利用者が日々をより良く暮らせるために、事業所の「できること・できないこと」を見極め、かかりつけ医とともにチームとしての支援に取り組んでいる。あるいは、今後の変化に備えて検討や準備を行っている	入居時に説明させて頂いております。又、重度化している利用者に関しては、主治医・家族様との連絡を密にし、急変時の対応の統一を図り、朝のミーティングやスタッフ会議で職員に徹底して説明しています。		継続していきます。
49	住み替え時の協働によるダメージの防止 本人が自宅やグループホームから別の居所へ移り住む際、家族及び本人に関わるケア関係者間で十分な話し合いや情報交換を行い、住み替えによるダメージを防ぐことに努めている	住み替えによるダメージを防ぐ為に、移転先へは文書で情報を詳しく提供しています。		継続していきます。

項目	取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
・その人らしい暮らしを続けるための日々の支援			
1. その人らしい暮らしの支援			
(1) 一人ひとりの尊重			
50	<p>プライバシーの確保の徹底</p> <p>一人ひとりの誇りやプライバシーを損ねるような言葉かけや対応、記録等の個人情報の取り扱いをしていない</p>	個人情報・プライバシーなどは特に気をつけています。	継続していきます。
51	<p>利用者の希望の表出や自己決定の支援</p> <p>本人が思いや希望を表せるように働きかけたり、わかる力に合わせた説明を行い、自分で決めたり納得しながら暮らせるように支援をしている</p>	思いをくみ取る、寄り添う支援を心掛けています。	継続していきます。
52	<p>日々のその人らしい暮らし</p> <p>職員側の決まりや都合を優先するのではなく、一人ひとりのペースを大切に、その日をどのように過ごしたいか、希望にそって支援している</p>	「散歩に行きたい」の声がある時は、他の入居者様もお誘いして一緒に行くようにしています。	その日その日によって違う気持ちを大切にしていきます。
(2) その人らしい暮らしを続けるための基本的な生活の支援			
53	<p>身だしなみやおしゃれの支援</p> <p>その人らしい身だしなみやおしゃれができるように支援し、理容・美容は本人の望む店に行けるように努めている</p>	いきつけの美容院がある入居者様には行って頂き、又、お化粧をされておられる入居者様には、それを続けて頂くように支援しています。	一人ひとりの思いを大切にしていきます。
54	<p>食事を楽しむことのできる支援</p> <p>食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている</p>	その時その場の雰囲気大切にしながら入居者様の楽しみな気持ちを壊さないように心掛けています。食事の準備や片付けは、一人ひとり出来る事をして頂いています。	食卓の席の配慮をしています。
55	<p>本人の嗜好の支援</p> <p>本人が望むお酒、飲み物、おやつ、たばこ等、好みのもを一人ひとりの状況に合わせて日常的に楽しめるよう支援している</p>	喫煙・飲酒を希望される方は現在いらっしゃいません。おやつは買い物ツアーの時に、希望の品を購入して頂いております。又、9時30分・15時には、コーヒーかお茶を選択して頂いています。牛乳・ジュース等の希望者には買物時に購入し対応しています。	継続していきます。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
56	気持よい排泄の支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして気持ちよく排泄できるよう支援している	入居前は紙パンツやオムツを使用されていた方もいらっしゃいますが、当苑では失禁される方は少なくなってきました。排泄パターンを把握し、それを共有しています。		自然排便にむけて牛乳・乳酸飲料の摂取や果物等に対応しています。
57	入浴を楽しむことができる支援 曜日や時間帯を職員の都合で決めてしまわずに、一人ひとりの希望やタイミングに合わせて、入浴を楽しめるように支援している	檀原の郷全体としての設備で大きな準天然温泉があり、同施設内の他部署の兼ね合いがあり、其方の方は午前中に使用し、その他の時間帯ではフロア内の個浴を使用しています。又入居者様の希望に合わせても個浴を使用しています。		入居者様のニーズに合わせ、今後も対応して行きます。
58	安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々状況に応じて、安心して気持ちよく休息したり眠れるよう支援している	その方の生活リズムを大切にしています。布団での生活しておられた入居者様には床対応にしています。		今後も継続していきます。
(3) その人らしい暮らしを続けるための社会的な生活の支援				
59	役割、楽しみごと、気晴らしの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせるように、一人ひとりの生活歴や力を活かした役割、楽しみごと、気晴らしの支援をしている	買物、外出、カラオケ、縫い物、書道、音楽鑑賞などの支援をしています。		色々な場面から見えていくその人なりの役割、楽しみ、気晴らしなどを支援していけるようにと考えています。
60	お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	いつでも使えるようにしてはありますが、入居時に無くすかもしれないが自分で持つ保管だけはこちらの金庫でしていく家族に全て任せるのどれかを本人様・ご家族様に尋ねております。		継続していきます。
61	日常的な外出支援 事業所の中だけで過ごさず、一人ひとりのその日の希望にそって、戸外に出かけられるよう支援している	外で気分転換をしたいと希望される方も希望にそえるようにしております。		外出の機会は設定していますが、行き先については、入居者様の意見をより取り入れて決めていきたいと思っております。
62	普段行けない場所への外出支援 一人ひとりが行ってみたい普段は行けないところに、個別あるいは他の利用者や家族とともに出かけられる機会をつくり、支援している	初詣・お花見にでかけたり、いちご狩りに行った際には、ご家族様にもお声を掛けさせて頂いております。		継続していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
63	電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望があれば、携帯電話を持ち込んで頂いております。また、電話もして頂いています。		継続していきます。
64	家族や馴染みの人の訪問支援 家族、知人、友人等、本人の馴染みの人たちが、いつでも気軽に訪問でき、居心地よく過ごせるよう工夫している	訪問を受けた時は、どこでも自由に見学して頂いています。又、ゆっくり話しが出来るように居室に椅子を持ち込み、お茶等もお持ちしてくつろいで頂ける様に配慮しています。		継続していきます。
(4)安心と安全を支える支援				
65	身体拘束をしないケアの実践 運営者及び全ての職員が「介護保険法指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、身体拘束をしないケアに取り組んでいる	朝のミーティングや回覧でも取り上げ、拘束の無いケアに取り組んでいます。又施設内研修により、施設内の全ての従業員を対象に職業倫理に関連させて身体拘束の防止について再確認しており、徹底されています。		継続していきます。
66	鍵をかけないケアの実践 運営者及び全ての職員が、居室や日中玄関に鍵をかけることの弊害を理解しており、鍵をかけないケアに取り組んでいる	実際には玄関、居室ドアには鍵がありますが戸締り程度の鍵であり、本人様が自ら戸締りをしない限り鍵がかかる事はありません。又、鍵をかけないほうがケアがうまくいく事は実際にいらっしゃる入居者様を事例として全職員が知っており、納得しています。		継続していきます。
67	利用者の安全確認 職員は本人のプライバシーに配慮しながら、昼夜通して利用者の所在や様子を把握し、安全に配慮している	各フロアで見守り担当スタッフを決め、所在を確認しております。通常、夜間は1時間に1回以上巡回を実施しております。		継続していきます。
68	注意の必要な物品の保管・管理 注意の必要な物品を一律になくすのではなく、一人ひとりの状態に応じて、危険を防ぐ取り組みをしている	例えば、誤嚥リスクがある薬のシート、食事のアルミカップなども一人ひとりの状態に合わせて対応しています。		継続していきます。
69	事故防止のための取り組み 転倒、窒息、誤薬、行方不明、火災等を防ぐための知識を学び、一人ひとりの状態に応じた事故防止に取り組んでいる	毎日のミーティングで施設内研修としても実施しています。		定期的な施設内研修としても行っていきたい。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
70	急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備え、全ての職員が応急手当や初期対応の訓練を定期的に行っている	スタッフ会議にて摂食・嚥下障害の特徴とリスク管理の勉強会を行っています。		定期的だとは言えない状況ですので、根付くように定期的に行っていききたい。
71	災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を身につけ、日ごろより地域の人々の協力を得られるよう働きかけている	消防訓練を年2回行い、立ち会った消防署員からも色々アドバイスを受けております。		当日参加していない職員にも説明しました。定期的に実施しています。
72	リスク対応に関する家族等との話し合い 一人ひとりに起こり得るリスクについて家族等に説明し、抑圧感のない暮らしを大切にされた対応策を話し合っている	ケアプランの説明時にリスクについても説明させて頂いています。		継続していきます。
(5) その人らしい暮らしを続けるための健康面の支援				
73	体調変化の早期発見と対応 一人ひとりの体調の変化や異変の発見に努め、気付いた際には速やかに情報を共有し、対応に結び付けている	行っています。必要であればリーダーに対し、24時間いつでも連絡を行い、対応にずれが出ないようにしております。		継続していきます。
74	服薬支援 職員は、一人ひとりが使用している薬の目的や副作用、用法や用量について理解しており、服薬の支援と症状の変化の確認に努めている	職員室内にいつでも処方箋とお薬の説明書などが利用者別においてあり、処方の変更も常にきちんと記録しております。		薬の目的・副作用について、より理解を深める必要があると思われ、施設内研修の機会を設けたい。
75	便秘の予防と対応 職員は、便秘の原因や及ぼす影響を理解し、予防と対応のための飲食物の工夫や身体を動かす働きかけ等に取り組んでいる	あらゆる原因、対処方法など考えています。内服調整、腹部マッサージ、水分量、食べ物での工夫もしております。		継続していきます。
76	口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないよう、毎食後、一人ひとりの口腔状態や力に応じた支援をしている	毎食後の歯磨き、義歯の利用者様には就寝前に洗剤の使用を進めています。又、各利用者様の能力や歯肉の状態に合わせ、歯ブラシの選択や一部介助も行っています。		継続していきます。

項目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
77	栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	食事量、一日の水分量の把握をしております。糖尿病の方にはその方に合わせた方法を説明させて頂いております。		水分摂取量が少ない利用者様に対する家族様への相談、本人様への聞き取りなどを行い、好きな飲み物を購入させて頂き、摂取量が確保出来る様にしています。
78	感染症予防 感染症に対する予防や対応の取り決めがあり、実行している(インフルエンザ、疥癬、肝炎、MRSA、ノロウイルス等)	マニュアルを作成、実行して感染予防に努めております。		継続していきます。
79	食材の管理 食中毒の予防のために、生活の場としての台所、調理用具等の衛生管理を行い、新鮮で安全な食材の使用と管理に努めている	調理用品は洗浄後、高温乾燥行っています。布巾はハイターで毎日消毒しています。		継続していきます。
2. その人らしい暮らしを支える生活環境づくり				
(1) 居心地のよい環境づくり				
80	安心して出入りできる玄関まわりの工夫 利用者や家族、近隣の人等にとって親しみやすく、安心して出入りができるように、玄関や建物周囲の工夫をしている	観葉植物や花壇で柔らかいイメージになるようにしております。		継続していきます。
81	居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)は、利用者にとって不快な音や光がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	各居室は東側もしくは南側にバルコニーがあり、花壇などもあって太陽光も入りますが、共用フロアは、座り心地の良い椅子を使用したり、畳のほりゴタツを用意する事により心地よく過ごせるように配慮しています。		継続していきます。
82	共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中には、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	たたみスペースもあり、リラックスされています。		入居様にとっての、心休まる空間を作りたいと考えています。

項 目		取り組みの事実 (実施している内容・実施していない内容)	(印)	取り組んでいきたい内容 (すでに取り組んでいることも含む)
83	居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	入居時にお持ち込み頂けるようお願いしております。		継続していきます。
84	換気・空調の配慮 気になるにおいや空気のおよみがないよう換気に努め、温度調節は、外気温と大きな差がないよう配慮し、利用者の状況に応じてこまめに行っている	常に行っています。		継続していきます。
(2) 本人の力の発揮と安全を支える環境づくり				
85	身体機能を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの身体機能を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	手すりが配置されており、安全に配慮してあります。		継続していきます。
86	わかる力を活かした環境づくり 一人ひとりのわかる力を活かして、混乱や失敗を防ぎ、自立して暮らせるように工夫している	失見当などの場合は貼紙で居室にお名前を貼り出したりもします。		継続していきます。
87	建物の外周りや空間の活用 建物の外周りやベランダを利用者が楽しんだり、活動できるように活かしている	建物の外回りも自由に使用して頂いており、そこにある藤棚の下の椅子で休憩したりされています。		継続していきます。

サービスの実績に関する項目

項目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
88	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる	ほぼ全ての利用者の	
		利用者の2/3くらいの	
		利用者の1/3くらいの	
		ほとんど掴んでいない	
89	利用者と職員が、一緒にゆったりと過ごす場面がある	毎日ある	
		数日に1回程度ある	
		たまにある	
		ほとんどない	
90	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
91	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
92	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
93	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
94	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らせている	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
95	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています	ほぼ全ての家族と	
		家族の2/3くらいと	
		家族の1/3くらいと	
		ほとんどできていない	

項 目		最も近い選択肢の左欄に をつけてください。	
96	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている	ほぼ毎日のように	
		数日に1回程度	
		たまに	
		ほとんどない	
97	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりが拡がったり深まり、事業所の理解者や応援者が増えている	大いに増えている	
		少しずつ増えている	
		あまり増えていない	
		全くいない	
98	職員は、生き生きと働いている	ほぼ全ての職員が	
		職員の2/3くらいが	
		職員の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
99	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての利用者が	
		利用者の2/3くらいが	
		利用者の1/3くらいが	
		ほとんどいない	
100	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う	ほぼ全ての家族等が	
		家族等の2/3くらいが	
		家族等の1/3くらいが	
		ほとんどできていない	

【特に力を入れている点・アピールしたい点】

(この欄は、日々の実践の中で、事業所として力を入れて取り組んでいる点やアピールしたい点を記入してください。)

一週間に一回のペースで日用品や調味料の買出しのため一緒に出かけています。又その際希望される物を買われたり、買いに行かなくても、希望する物を購入しています。外出された際は写真を撮り、フロアに展示する時には皆様にも手伝って頂き、和気あいあいと過ごしています。主治医には日頃の様子を伝えていますが、周辺症状の増悪時等は主治医・家族様とも相談し、専門医の受診を行っています。